

# あいち農産物生産流通レポート

平成19年6月号

情報サロン		
・愛知県農産物需要拡大推進協議会総会が開催されました	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・長久手町に「ながくて食と農の広場 あぐりん村」がオープンしました	(尾張農林水産事務所)	2
東日本情報		
・平成18年の果実輸出の現状	(東京事務所)	3
西日本情報		
・「母の日」にちなみ、カーネーションをプレゼント	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・卸売市場から ~生産者と小売業者をつなぐ情報発信~	(食育推進課)	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2007年3月)		25
関連指数		26

本書の内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所総務課物産情報グループ  
愛知県農林水産部食育推進課

(03)-5492-5400

(052)-954-6417

## 愛知県農産物需要拡大推進協議会総会が開催されました

「愛知県農産物需要拡大推進協議会総会」が5月17日（木）に県庁西庁舎の第11会議室において開催されました。県とJAあいち経済連で構成する協議会は、県内外の主要消費地において、本県産農産物の展示・販売コーナーを設置したり、市場関係者との意見交換会を開催するなど、消費者や流通関係者に本県産農産物を広くアピールし、需要の拡大に取り組んでいます。

総会には、協議会の会長である永田農林水産部長を始め、県とJAあいち経済連の関係者で構成する役員が参加し、平成18年度の事業実績、平成19年度の事業計画等を審議しました。



冒頭のあいさつで、永田会長は、「消費者や流通関係者に、優れた本県の農産物を広く知ってもらおう本協議会の取り組みは、本県農業の発展のためには、今まで以上に重要性を増していく。」と述べられました。

総会では、平成19年度も「農産物フェア等実施事業」、「流通関係者等産地理解促進事業」、「市場関係者による品質評価会の開催」などを行っていくことが承認されました。

本年度も、愛知県農産物需要拡大推進協議会では、県内外の量販店で消費宣伝会を開催するなど本県産農産物の魅力を積極的に紹介していくこととしています。

## 愛知県農産物需要拡大推進協議会（平成19年度）の主な活動内容について

## 1 農産物フェア等実施事業

大消費地の催事場や量販店において、本県農産物の展示即売会やPRイベントの開催や試食・販売など消費宣伝を通じて、消費者や量販店への本県産農産物のPRを行う。

- (1) 全国ふるさと県人会祭りへの出展  
平成19年9月上旬実施予定（名古屋市中区栄「もちの木広場」）
- (2) 第46回農林水産祭地域農林水産展への出展  
平成19年11月2日～3日（東京国際展示場「東京ビックサイト」）
- (3) あいちの農産物フェアの実施  
平成19年11月下旬実施予定（金山総合駅コンコース）
- (4) 量販店での消費宣伝会の実施

京浜地域、京阪神地域、中京地域の量販店に設置した農産物の販売コーナーで、試食・販売を通じて、消費者にPRするとともに、本県産農産物に対する量販店の評価の向上に取り組む。

## 2 流通関係者等産地理解促進事業

本県産農産物に対する量販店の青果物担当者等の理解と信頼を深めるため、県内産地において、生育状況や出荷見通し等に関する情報交換等を行う。

## 3 その他

市場関係者による品質評価会の開催やPR資材の作成配布などを実施する。

## 地域トピックス

尾張農林水産事務所

長久手町に「ながくて食と農の広場 あぐりん村」がオープンしました！

長久手町は、農のある暮らし・農のあるまちづくりを目指す「長久手田園バレー事業」を実施しており、取り組みの拠点となる「ながくて食と農の広場 あぐりん村」が4月25日にオープンしました。

この施設は、食と農を通じて地域の交流を図ろうと、長久手町がやすらぎ空間整備事業を活用して整備したもので、お洒落な木造の建物には、農産物直売所、ふるさと薬膳レストラン、パン工房などが入っています。

農産物直売所「市・ござらっせ」では、地元で採れた新鮮で、安全・安心な野菜や果物を中心に、手作り食品などが販売されています。

また、地元の女性グループが運営している、ふるさと薬膳レストラン「凜」では、旬の食材を使った、健康でおいしいふるさと料理が提供されています。

このほか、地元産のお米を原料とした米粉パンなどを販売する「パン工房」や、いちごやお茶など地元の素材を使ったジェラートが食べられる「おやつ工房」などもあります。

是非、「ながくて食と農の広場 あぐりん村」にお出掛けください。

名 称：「ながくて食と農の広場 あぐりん村」

所在地：愛知郡長久手町大字前熊字下田134番地

主な施設と営業時間：

- ・農産物直売所「市・ござらっせ」と「パン工房」は、午前9時から午後6時まで
- ・ふるさと薬膳レストラン「凜」は、午前11時から午後9時まで  
(オーダーストップ 午後8時)

定休日：毎月第1月曜日(祝日の場合は翌平日)

アクセス：東名高速道路「名古屋I.C」又は、名古屋瀬戸道路「長久手I.C」  
地下鉄「藤が丘」駅から無料シャトルバスなど

お問い合わせ先：(株)長久手温泉アグリ事業部 電話 0561-64-2831



農産物直売所「市・ござらっせ」

## 平成18年の果実輸出の現状

## 平成18年の果実の輸出状況

平成18年(1~12月)の日本の果実(生鮮)の輸出は、数量で24,949t(前年比95%)、金額で80億円であった。

品目別の数量では、りんご18,761t(シェア75%)、みかん2,710t(同11%)、なし1,356t(同5%)であった。

前年に比べ大幅な増加品目は、いちご66t(前年比186%)、ぶどう269t(同173%)であった。

主な輸出先は、台湾19,122t(シェア77%)、香港1,393t(同6%)、中国886t(同4%)で、圧倒的に台湾が占めた。

表 平成18年果実の輸出状況

(単位:t・千円・%)

種類	数量	数量		金額	金額	
		シェア	前年比		シェア	前年比
りんご	18,761	75.2	109.7	5,697,127	71.5	106.5
温州みかん	2,710	10.9	55.2	371,060	4.7	72.8
なし	1,356	5.4	63.4	532,577	6.7	66.9
桃(ネクタリン含む)	425	1.7	59.6	364,569	4.6	85.2
柿	389	1.6	64.2	148,747	1.9	86.5
ぶどう(生鮮)	269	1.1	172.9	299,324	3.8	171.4
いちご	66	0.3	186.4	103,308	1.3	179.7
メロン	23	0.1	198.0	50,348	0.6	254.4
その他	951	3.8		400,206	5.0	
合計	24,949	100.0	95.0	7,967,266	100.0	102.7

輸出货量は乾燥を含む

(出典：財務省発表貿易統計)

## ナシ

ナシは1,356t(前年比73%)、5億7千万円で、主な輸出先は香港627t(シェア46%)、台湾401t(同30%)、アメリカ286t(同21%)となっている。

## 温州みかん

温州みかんは、2,710t(前年比63%)、3億7千万円で、数量、金額とも前年を大きく下回った。この要因として、裏年と天候不順が重なったためである。

主な輸出先は、カナダ2,268t(83%)、台湾106t(4%)、香港114t(4%)となっている。

## 日本園芸農業協同組合連合会の取り組み状況

日本園芸農業協同組合連合会(以下「日園連」という。)は、昭和 23 年の設立当初から、りんご、温州みかん、ナシなどの果実の輸出に携わっている。平成 18 年は年間 5,000 t ほど扱っており、総輸出量の 5 分の 1 程度を占めている。

日園連の品目別輸出量をみると、温州みかん 2,500 t、ナシ 1,000 t、りんご 500 t 等で、特に温州みかんとナシは同連合会が大半を取り扱っている。

そこで、なしと温州ミカンの 2 品目に絞り、日園連の鈴木経済事業部次長兼貿易課長から果実の輸出について聞き取りしたので紹介する。

### ナシ

- 日園連は鳥取産「20世紀」800 t、熊本産、大分産の「新高」200 t、その他「愛宕」など合計 1,000 t 強を扱っており、ナシの輸出量の約 7 割を占めている。
- 平成 18 年は、熊本、大分の「新高」を中国や台湾の中秋節(旧暦の 8 月 15 日)直前に販売できるよう早切りし、9 月 17~18 日に輸出した。売れ筋は 6 玉で、おそらく定着するものと思われる。
- 台湾のナシの輸入枠は 9,800 t で、このうち 7,000 t を韓国が占め、残り 2,800 t を日本、チリ、ニュージーランド等が争っている(12 月末日が輸入枠の年度替わり)。
- 台湾では、韓国産は小玉であるため、玉の大きい日本産が求められている。
- なお、例年、1~2 月は韓国の独壇場である。

### 温州みかん

- 日園連は、静岡県を中心に 4 県のものを輸出するとともに、日本の温州みかん総輸出量の 9 割ほどに関わっている。
  - 温州みかん 9 割を北米(カナダ、アメリカ)に輸出している。
  - 今シーズンは 2,500 t 強を輸出したが、オーダーはこれを上回っていた。
  - 販売価格は、農家支払いで 70 円/kg を目指しているが、現実には 50 円/kg 程度になっている。
  - 北米の消費者の求める品質は次のとおりである。
    - 玉の大きさは M、S 級。酸度は 0.8 以上(輸出先は 1 以上)。糖度は 10 度(Brix)あれば十分。
    - 着色の良いもので、多少のキズや黒点は支障がないが、浮き皮は NG。
- 以上のことから、輸出仕向けの品種としては、極早生の「徳森」が向いていると思われる。

### 産地への要望

- 輸出すれば必ず最初から国内より高く売れるとは限らない。産地は、国内の需給を見越し、長期戦略を持って輸出に取り組んでほしい。
- 初めて輸出するときから価格のことを言う産地がある。産地が損をしてはいけないが、長期的に考えてほしい。
- 国内の販売価格が高いことを理由に、一度決めた契約数量を守らない産地がある。毎年、安定した数量を輸出してほしい。

## 「母の日」にちなみ、カーネーションをプレゼント

愛知県は、カーネーションの生産が盛んで、平成17年の出荷量、産出額は全国2位となっています。(表1)

(表1) 全国のカーネーション生産状況 (単位 億円 % 万本)

順位	県名	産出額	全国シェア	出荷量
1	長野	39	22.8	9,040
2	愛知	27	15.8	6,810
3	北海道	20	11.6	3,990
4	千葉	16	9.4	3,710
5	兵庫	13	7.6	4,650
	その他	56	32.8	15,100
	全国計	171	100.0	43,300

注：農林水産省統計情報部資料（平成17年）。順位とシェアは産出額

このたび、5月第2日曜日の「母の日」にちなみ、愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会が、県内産のカーネーションをPRするための様々な催しを行いましたので紹介します。

\* 愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会...県内のカーネーション生産者115名からなる組織

中日ドラゴンズと横浜ベイスターズの選手に、カーネーションの花束を贈呈  
5月5日(土)に、中日ドラゴンズと横浜ベイスターズのキャッチャー(女房役)に、愛知県花き温室園芸組合連合会(カーネーション部会)の花束を贈呈しました。



園児にフラワーアレンジ用カーネーションを贈呈し、県内で初めて花育を実施  
5月9日(水)に、西尾幡豆花き温室園芸組合(カーネーション部会)が、西尾市、一色町、吉良町の幼稚園に合計で3,150本のカーネーションを贈呈しました。

このうち、西尾市内の幼稚園では、園児たちが母の日にプレゼントするアレンジフラワー作りを行いました。これは、花に接して心を豊かにする「花育」として行われたもので、県内初の取り組みです。



#### 献血協力者に、カーネーションを贈呈

5月13日（日）に、愛知県赤十字血液センターは、愛知県花き温室園芸組合連合会（カーネーション部会）から寄贈されたカーネーション600束を、県内の7か所で献血協力者に贈呈しました。

#### ～ 花きの消費拡大にむけて ～

総務省統計局の平成18年家計調査結果によると、本県は全国一の花の生産県にもかかわらず、名古屋市は全国的に見て、切花や園芸品に費やす金額はあまり多くありません。（表2）

今後、さらに消費者の需要を喚起し、消費拡大につなげるためには、カーネーションのみならず、他の花においても、このような催しを通じ、消費者に対して本県産の花をPRすることが必要です。

（表2）都道府県庁所在市別1世帯あたり支出金額

〔切花〕			〔園芸品〕		
（単位：円）			（単位：円）		
	都市名	金額		都市名	金額
1	仙台市	16,012	1	長野市	14,015
2	青森市	15,721	2	岡山市	12,995
3	松江市	15,369	3	甲府市	12,116
}			}		
2 3	東京都区部	10,719	4 2	名古屋市	5,283
2 4	名古屋市	10,691	4 3	東京都区部	5,279
全国平均		10,625	全国平均		9,442

注：総務省統計局「家計調査」（平成18年）

卸売市場から ～生産者と小売業者をつなぐ情報発信～

日本花き卸売市場協会の発表によると、花き市場の平成18年の取扱高は、4,550億円（対前年比98.8%）と、下げ幅はやや緩やかになったものの、8年連続で前年を下回りました。取扱高のピークであった平成10年ごろと比較すると、約80%に減少しています。この状況は、愛知県でも同様に続いています。

そこで、県内大手の花き卸売市場であるヤマエ生花市場株式会社の鈴木専務に、花き生産流通の発展のために取り組んでいること等について、お話を伺いました。



ヤマエ生花市場株式会社 鈴木専務

1 生産者への提案

(1) 新たな生産の提案

これから消費が拡大しそうな品種や、生産が他の産地に限定されている品種について、先進地を紹介するなどして、生産を提案しています。

過去には、長期的な見通しをもとに、稲武町（現豊田市）の生産者に「キク」の栽培を提案したり、徳島県相生町の生産者に引越しの際に新居に飾る「おもと」の1品種（大艸冠（たいそうかん））の栽培を提案しました。これらは現在も取引が続いています。

(2) 出荷方法の提案

小売業者のニーズに合致し、かつ効率的に出荷作業ができるよう、束ね方や剪定方法、箱詰めの方法などを提案しています。

(3) 新品種生産への参画

生産者とともに種苗会社と連携し、新品種の生産に参画しています。

(4) 消費者ニーズの情報提供

正月・母の日・敬老の日などのイベント時に小売業者にアンケートを行って、消費者が求めている花の情報を収集しています。その結果を、生産者へお知らせしています。

2 小売業者への商品情報の提供

新品種の特徴や生産状況（時期・入荷量）に関する情報を入荷前に把握し、見本の展示と併せて、小売業者へPRしています。

3 現地研修会・情報交換会の開催

毎年4回、小売業者の方と一緒に産地を訪問して花の生育について学習するほか、現地で生産者の方との情報交換会を開催しています。

仕入れや生産に役立つ情報を小売業者や生産者にきめ細やかに提供し、これらの方との強固な信頼関係を築くことが重要とのことです。



# 愛知産青果物の動向

## 名古屋市中心卸売市場（品目：おおば）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
18年実績	24	20 (85%)	2,446	2,487	愛知 (85%) 高知 (9%)
19年見通し	24	22	2,400	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>地元愛知が主力である。好天に恵まれ、生育は順調である。6月に暑くなると需要が増加すると見込まれる。</p> <p>5月の前進傾向を受け、6月前半はやや入荷が減少するが、後半には回復するであろう。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>農薬を使わなくても品質を低下させないように、常に品種が改良されているので、これからも続けていただきたい。</p> <p>10年近く前まではツマとしての用途が多かったが、現在は、健康野菜としての認識も広まり、用途が広がっているため、調理法を紹介するなど、より一層のPRが望まれる。</p>		

## 東京都中央卸売市場（ハウスいちじく）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
18年実績	117	113 (97%)	1,095	1,092	和歌山 (3%)
19年見通し	120	-	1,050	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>6月は、ほとんど本県産で占められる。一部、和歌山産が入荷する。本県産は、5月に入ってから低温の影響からやや遅れており、出荷のピークは当月上旬にずれ込む見込み。和歌山産は施設の栽培面積は前年並で生育も順調で前年並の入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年を上回り、価格については前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>例年、出荷量の波が大きく、売場の確保に苦慮しているため、安定的な出荷に努めてほしい。</p> <p>現在は、秀優品の単価が高く、B品の引き合いが強いが、出荷量が増え価格が下がってくると秀優品が動くようになるため、着色の良い秀優品をつくるよう心がけてほしい。</p>		

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
		全 国 平成17年 = 100 愛知県 平成17年 = 100				
全 国	18年11月	100.1	89.4	105.5	101.7	102.4
	12月	100.2	93.2	108.4	101.5	102.5
	19年 1月	100.0	104.2	114.7	102.3	103.8
	2月	99.5	95.7	109.9	101.9	102.5
	3月	99.8	98.9	108.2	102.2	104.2
愛 知 県	18年11月	100.3	89.8	102.4	99.4	102.3
	12月	100.4	91.5	103.6	99.6	103.6
	19年 1月	100.2	101.1	116.0	99.8	104.6
	2月	99.7	90.9	114.3	98.7	102.7
	3月	100.2	94.8	111.8	98.9	105.6

項目 年月		農業物価指数 (平成12年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
17年平均		99.7	91.9	104.7	90.7	109.3
18年11月		95.1	90.1	76.5	119.4	109.6
	12月	102.8	89.7	92.3	137.3	112.8
19年 1月		104.3	89.2	104.4	140.4	105.6
	2月	100.2	90.7	92.9	125.4	107.6
3月		104.3	90.9	105.4	111.3	108.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち	キ	は	ね	レ	ば	だ	に	た	き	ト	生	り
	米 (単一品種、 「コシカ 」以外)	ャ ベ ツ	く さ い	ね ぎ	タ ス	れ い し よ	い こ ん	ん じ ん	ま ね ぎ	ゅ う り	マ ト	し い た け	ん(ご ふ じ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年11月	2,265	106	107	571	281	276	103	306	210	395	639	208	-
	12月	2,258	91	102	502	360	263	101	278	211	638	197	461
19年 1月	2,218	111	107	534	519	266	111	280	209	812	556	257	478
	2月	2,218	97	105	460	469	269	98	255	214	584	185	494
3月	2,226	108	152	466	465	275	110	241	216	495	713	187	514
品目 単位 年月	み	グ	オ	い	バ	キ	緑(せ	カ	き	バ	豚(口	牛(口	ま
	か ん	レフ  ル プ  ツ	レ ン ジ	ち ご	ナ ナ	ウフ イル   ツ	茶ん 茶)	 ネシ  ヨ ン	く	ラ	肉  ス)	肉  ス)	ぐる
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	100g
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年11月	487	369	423	-	242	694	603	146	159	304	238	809	496
	12月	513	371	429	-	238	715	604	159	168	338	148	493
19年 1月	588	341	426	-	247	734	597	161	169	320	223	778	531
	2月	654	359	528	182	259	721	586	161	175	322	214	521
3月	720	403	549	157	266	649	597	174	175	328	225	754	516

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 408  
平成19年6月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417